場	所	Ť	分類		
原子炉建屋内	(\mathbb{B})			1	時間
タービン建屋内	TB		3	2	距離
R ZONE	R			(\mathfrak{G})	遮へい
Y ZONE	Y	RB		4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、味ット化
その他(7			6	汚染拡大防止
`	_			7	マの出

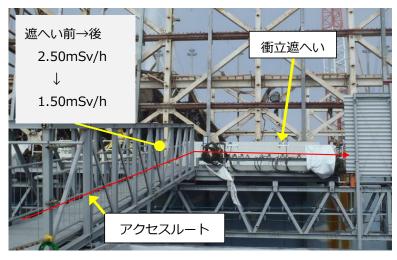
被ばく低減対策好事例集

) 2			7 その他	百	5	30)-03-02			
内	容	遠隔操作設備設置時の遮へい									
作業	場所	1号機原子炉建屋5FL(オペフロ) 周り									
概	略	オペフロに堆積しているガレキ等を遠隔工法で撤去するため、原子炉建屋 周りに遠隔操作のための電源・通信設備を設置する。									
評価(定性・定量)						対策前		対策後			
	効	果	線量率(mSv/h)		2.5/13.0/3.5		1.5/0.70/1.7				
			人工数(人日	3)	-	_					

事例詳細

対策前 作業床での線量率が高線量率であった。

対策内容 作業エリアとなる場所に遮へいを設置した。



遮へい前→後 13.0mSv/h ↓ 0.70mSv/h



東作業床衝立遮へい状況

遮へい前→後 3.50mSv/h ↓ 1.70mSv/h

編集:株式会社日本環境調査研究所